

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 1 日現在

機関番号：82512

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2015

課題番号：24730232

研究課題名(和文) 外資企業が地場企業の生産性に与える効果：カンボジアの事例

研究課題名(英文) The Impact of Foreign Firms on the Productivity of Domestic Firms: The Case of Cambodia

研究代表者

田中 清泰 (Tanaka, Kiyoyasu)

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・研究企画部・海外研究員

研究者番号：30581368

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、カンボジアにおいて外資企業による直接投資が地場企業の生産性に与える効果について実証分析を行った。カンボジアの縫製産業と観光産業に進出している外資企業を調査した結果、外資企業の多くは資本財や中間財の調達を輸入に依存しており、地場企業からほとんど調達していない事が分かった。計量分析の結果、外資企業が地場企業に与える技術的な波及効果は限定的であることが分かった。こうした結果は、カンボジア経済において地場産業の発展が遅れており、存在の大きなインフォーマルセクターの企業は、外資企業と取引関係を持っていない実態を反映している。

研究成果の概要(英文)：This research investigates the impact of foreign firms on the productivity of domestic firms in Cambodia. This research conducts an interview survey for foreign firms in garment and tourism industries in Cambodia. The survey shows that the majority of foreign firms import capital goods and intermediate inputs from foreign markets and have little transaction relationship with local suppliers. An empirical analysis suggests that there are limited spillover effects of foreign firms on domestic firms. These results can be interpreted as reflecting the fact that the local industry in the Cambodian economy is underdeveloped and a large number of informal firms do not have any transaction relationships with foreign firms.

研究分野：国際経済学、開発経済学、応用計量経済学

キーワード：カンボジア 外資企業 地場企業 インフォーマルセクター 産業集積 衛星画像データ ミクロデータ

1. 研究開始当初の背景

外資系企業による生産を目的とした直接投資は、投資を受け入れる発展途上国の経済成長および産業発展にとって、様々な経済効果を期待することができる。例えば、投資による資本の流入、先端的な生産技術や経営ノウハウ、生産工場の設立による新たな雇用創出などがある。外資企業を誘致するため、発展途上国の政府は、税制面における優遇や経済特区の設置といった、様々な投資促進の政策を実施している。

一方、外資企業の投資に対する優遇政策は、地場企業に対して不公平な競争を生み出す政策となるかもしれない。外資の参入によって地場企業の健全な発展を阻害する可能性も指摘されている。莫大な資金や資源を外資企業に対して使用するため、投資誘致政策の妥当性や有効性が議論されている。

こうした背景の下、投資を受け入れる国の地場企業および産業に対して、外資企業の生産活動がどのような影響をおよぼしているのか、研究が行われてきた。例えば、外資企業の先端的な生産技術や経営ノウハウが、外資企業と部品や中間財を取引する地場企業に移転された場合、地場企業の生産性は向上するかもしれない。直接投資が正の波及効果を生み出せば、投資誘致政策の有効性に対する証拠となる。

2. 研究の目的

本研究は、カンボジア史上初の 2011 年度経済センサスのミクロデータを使用して、外資企業による直接投資が地場企業の生産性に与える効果について実証分析を行う。はじめに、(1) カンボジアにおける企業の生産性を推定して、外資企業が地場企業より生産性が高いのかを検証する。次に、(2) 外資企業との部品供給などの取引関係が、地場企業の生産性にどのように影響するか調べる。そして、(3) 外資と取引のある地場企業の生産性は、取引のない企業と比較して高いかどうかを検証する。外資企業の影響を厳密な計量手法により評価して、カンボジアにおける投資誘致の政策に対する指針形成を目指す。

3. 研究の方法

カンボジアにおける外資企業の影響を実証するために、理論的な仮説を設定する。具体的に、外資企業は先端的な技術、ブランド、そして経営ノウハウを持っているため、その生産性は地場企業に比較してより高いと予想される。また、生産性の高い外資企業から

地場企業に技術的な波及効果がある、という仮説を考える。

こうした仮説を検証するために、経済センサスデータを使って企業・事業所の生産性を計測する。生産性を算出する方法として、(1) 産出物に対して労働力の投入量の比率を取った労働生産性と、(2) 産出物に対して資本や労働力といった投入物だけで説明できない残りの要因である全要素生産性を用いる。

企業間における部品調達や供給といった取引関係を調べるために、カンボジアにおいて企業調査を行う。どのような地場企業が外資企業と取引を行っているのか。実際に取引がある場合、どのような取引をどのくらいの規模で行っているのか。こうした点を現地調査する。企業調査から、カンボジアにおける外資企業と地場企業の関係を明らかにする。

4. 研究成果

カンボジアで実施したインタビュー調査およびカンボジア経済センサスデータの計量分析から、以下の点が明らかになった。

第 1 に、外資企業の進出地域は道路や電力などの経済インフラなどに強く依存している。道路インフラ関連の ODA が企業の立地に与える効果を分析した結果、ODA は外資企業や地場企業の立地を促進する効果を持つことが分かった。しかしながら、電力供給など他のインフラ整備の状況が外資企業の立地により大きな影響を持っている結果も示唆された。

第 2 に、カンボジアに進出している外資企業が多い縫製産業と観光産業において、外資企業と地場企業の取引関係について調査した。プノンペン経済特別区に進出している縫製関連の日系企業を調査した。また、観光産業においては、アンコールワットで有名なシェムリアップに進出している外資系ホテルを調査した。聞き取り調査の結果、カンボジアの地場企業が十分に発展していないことを反映して、地場企業との取引はかなり小さいことが分かった。インタビュー調査の結果は、計量分析の結果とも整合的である。製造業もサービス業も外資企業の多くは資本財や中間財の調達を輸入に依存しており、地場企業から調達する事例は少ない。製造業における外資企業の場合、輸入した中間財を現地の非熟練労働者が組立て、完成品を海外市場に輸出する生産工程が中心である。

第 3 に、地場企業に対する技術的な波及効果が限定的な理由として、インフォーマルセクターの存在について分析した。カンボジア経済において、企業登録や税務登録を持たないインフォーマル企業が非常に多い。インフォーマル企業は、外資企業を含むフォーマル

セクターの企業との取引が少ない。この点を検証するために、カンボジアにおける産業集積がフォーマル企業とインフォーマル企業の生産性に与える集積効果を推定した。集積効果はインフォーマル企業に対して正の効果を持つ一方、フォーマル企業に対してほとんど効果がないことを明らかにした。この結果は、インフォーマルセクターの存在が大きいため外資企業の波及効果が少ない、という仮説と整合的である。

最後に、産業基盤が未熟なカンボジア経済において外資企業の影響を考察するために、フォーマル企業とインフォーマル企業の活動規模を計測した。経済センサスの個票データを活用して、カンボジア経済におけるフォーマル企業とインフォーマル企業の特徴を明らかにした。カンボジアにおける非農業部門の事業所数を見ると、96.6%は企業登録をしていないインフォーマル企業と分類できる。インフォーマル企業は、売上総額の76.6%を占めている。さらに、カンボジアのインフォーマル企業の変化を時系列で分析するために、夜間光の衛星画像データを活用した推定方法を新しく提案した。カンボジア経済においてフォーマル企業に対してインフォーマル企業の規模は絶対的にも相対的にも増加してきていることが分かった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 5 件)

Kiyoyasu, Tanaka and Keola, Souknilanh (2016) Shedding Light on the Shadow Economy: A Nighttime Light Approach. Journal of Development Studies, 査読有, forthcoming
DOI:doi/full/10.1080/00220388.2016.1171845

Kiyoyasu, Tanaka and Arita, Shawn (2016) Does Policy Reform Promote FDI in Developing Economies? A Firm-level Simulation Approach. Journal of Economic Policy Reform, 査読有, forthcoming
DOI:doi/full/10.1080/17487870.2015.1100083

Kiyoyasu, Tanaka and Hashiguchi, Yoshihiro (2015) Agglomeration Effects of Informal Sector: Evidence from Cambodia. IDE Discussion Papers No. 495, Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization, 査読なし.

田中清泰 (2014) カンボジア経済センサス、アジア研ワールドトレンド、査読なし、9月号、pp. 17-18.

Kiyoyasu, Tanaka and Tsubota, Kenmei (2013) Does Aid for Roads Attract Foreign or Domestic Firms? Evidence from Cambodia. The Developing Economies, 査読有, Vol.51, No.4, pp.388-401.
DOI: doi/10.1111/deve.12027/full

[学会発表](計 3 件)

田中清泰, Agglomeration Effects of Informal Sector: Evidence from Cambodia, Comparative Analysis of Enterprise Data, 2015年10月25日、イスタンブール(トルコ).

田中清泰, Agglomeration Effects of Informal Sector: Evidence from Cambodia, 日本経済学会、2014年10月12日、西南学院大学(福岡県福岡市).

田中清泰, FDI and Investment Barriers in Developing Economies, 日本国際経済学会、2013年10月13日、横浜国立大学(神奈川県横浜市).

[図書](計 件)

[産業財産権]

出願状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

田中 清泰 (KIYOYASU TANAKA)

日本貿易振興機構アジア経済研究所研究企画部・研究員

研究者番号: 30581368

(2) 研究分担者

なし

(3)連携研究者
なし